

石原岳さんに やんぼる高江のいまを聴く

日時：2012年4月13日(金)18:00-20:00

場所：名古屋大学環境総合館3階講義室2

参加費：無料

懇親会：2,000円(学生1,000円)会場グランピアット

講演会・懇親会申込み先：榊原 chizuru23-s@nifty.com/090-8183-3102

主催：名古屋大学千年持続学研究グループ



石原岳 (いしはらたけし) さんの プロフィール

1971年神戸出身。83年千葉に、92年東京から沖縄に移住。
沖縄県の北の果て、基地問題で揺れる沖縄県東村高江に在住するギタリスト、コンポーザー。
ロック、ブルース、パンクやサイケデリック音楽に影響を受けて19才からギターをはじめ。
ギター2本の轟音即興ユニット「PIRARUCU」ピラルクや
さまざまな即興ユニットでエレキギターとエフェクターを
使い演奏。微音から轟音まで、アンビエントからノイズまで。
沖縄県内外で活動。

2007年、演奏活動をしながら「やんぼる」とよばれる
沖縄県北部亜熱帯森林地帯にある東村高江に移り住む。
人口160名の小さな集落、高江に移住すると同時に国に
よる強引な米軍ヘリパッド建設問題勃発。
戦闘機やヘリの騒音、日常的に起こる米軍基地があること
によって起こる事件や事故に対する意識に変化が起こる。
北部訓練場過半返還に伴う沖縄県の基地負担軽減を
うたい文句にろくに説明もせず一方的に高江の小さな
集落のまわりにヘリの離着陸帯ヘリパッドを6つも新設
しようとする国の動きに対してきちんとした説明を求める
座り込み運動を高江住民ではじめる。

HP「発酵する世界」 <http://hakko319.tumblr.com/>
sound cloud <http://bit.ly/9wZdsK>
twitter <https://twitter.com/#!/Takeshi319>
mail rappado@cosmos.ne.jp

